

理事会議事録

開催日時 令和7年7月24日 午後18時30分
開催場所 後楽鹿島ビル6階 JBA会議室
出席理事 13 (理事総数20名)
代表理事 橋本 信雄 針生 淳男
理事 渡辺 篤 吉田 明子 田中 宏 森田 優
河野佐紀子 島田 永秀 福嶋 正明 中村健太郎
西山 貴広 市川 数馬 小幡 彩華
馬場香保里 河野佐紀子
出席委員長 8名 俵川 高明 川村 明彦 鈴木 伸之 芦川 勝彦
北村 麻衣 青柳 彰 品田 奥義 伊藤 恒
出席監事 0名 (監事総数2名)
法務アドバイザー 林 圭介

議題

一、決議事項

第1号議案 事務局職員就業規則改定の件
第2号議案 委員会 委員追加承認の件
第3号議案 2025年度 国スポ関東ブロック大会スタッフ・選手承認の件

一、報告事項

第1号報告 専務理事報告
・職員賞与について
・デフリンピックに向けて (競技ボランティアの募集、その他進捗状況)
・インテグリティ委員会案件の増加に伴う、部会単位のコンプライアンス委員の抽出検討
・都協会インフラ整備の着手について (東京都補助金獲得について)
・鹿島建物駐車場トラブルについて
・今年度の秋季大会実施並びに秋季大会検討委員会の立ち上げについて
第2号報告 各委員会報告
第3号報告 各連盟報告

議事の経過の要領及びその結果

定款の規定により橋本会長に代わり森田常務理事が議長となり、本日の出席理事数を上記の通り報告し、法令及び定款に定める定足数を満たしているので本理事会は適法に成立した旨を述べ、開会を宣し、直ちに議事に入る。

一、 決議事項

第1号議案 事務局職員就業規則改定の件 【資料1】

議長は、本議案を上程し、事務局職員就業規則改定の件について審議承認を求めた。

針生専務理事より、資料1に基づき改定部について詳細なる説明があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

承認を受け、改定を進めていくこととなった。

▷林 雇用に関する法的な確認として、5年以上の雇用ではなく、5年以上の継続雇用である。

第2号議案 委員会 委員追加承認の件 【資料2】

議長は、本議案を上程し、委員会 委員追加承認の件について審議承認を求めた。

芦川DC長より、資料2に基づき詳細なる説明があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

第3号議案 2025年度 国スポ関東ブロック大会スタッフ・選手承認の件 【資料3】

議長は、本議案を上程し、2025年度 国スポ監督・スタッフ承認の件について審議承認を求めた。

鈴木強化育成委員長より、資料3に基づき詳細なる説明があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

▶少年男女のサポートコーチは関東ブロック大会、国民スポーツ大会へ帯同する

一、 報告事項

第1号報告 専務理事報告 【資料4】

専務理事より下記議題沿って報告があった。

■職員賞与について

賞与支給に関する報告があった。

■デフリンピックに向けて（競技ボランティアの募集、その他進捗状況）

▶川村競技委員長、里村競技委員中心に人員確保を進めている。

▷川村 都スポーツ文化事業団担当者と確認をし、各コートへ配置する人員の確保と認識している。

1日に各コート2名体制とし、2試合交代の計8名での対応にて先方と話をしている。

現在、正式な依頼待ちである。

■インテグリティ委員会案件の増加に伴う、部会単位のコンプライアンス委員の抽出検討

▶インテグリティに関する通報が増加しており、品田委員長より各部会内にコンプライアンス委員会立上げについて提案があった。今後、規律・裁判規程の改定を進めることをご承知おきいただき、かつ、人選含め組織作りの検討にあたり忌憚のない意見をいただきたい。

なお、この場で各部会において人選を進めていただくことをお願いする。

▷品田 すぐにではないが、各部会内にコンプライアンス委員会を立上げていただき、案件が発生した際にヒアリング等ご協力いただける体制づくりの構築について専務理事へ提案させていただいた。通報が増加するなかで現場に精通している方の協力を受け、効率的に進めていけるよう整備していきたい。

▷青柳 U15部会としては問題ないと考えている

▷田中 各部会内での人選が困難であれば常務会メンバー内でも請け負うことはできるため、お声がけいただきたい。

■都協会インフラ整備の着手について（東京都補助金獲得について）

▶テレワーク推進に関する東京都の助成金を受けることができた。（満額の5分の4）

現在、インフラを整えている状況である。財務が厳しいなかではあるが、予算時にも承認いただきており、インフラ環境の積極投資については活動を進めていることをご報告する。

■鹿島建物駐車場トラブルについて

▶今回のトラブルを踏まえ、都協会へ車で来ることは禁止であることを各部会、委員会内で周知徹底をお願いする。

■今年度の秋季大会実施並びに秋季大会検討委員会の立ち上げについて

▶前回理事会において今年度の実施可否について川村競技委員長へ検討を依頼し、資料のとおり回答いただいた。検討の結果、今年度は予定通り開催する。

次年度以降の開催含め、川村競技委員長には継続的に検討をお願いしている。

▷川村 今年度の秋季大会代表者会議内で、役職者の方から参加チームへ次年度の開催については検討していることを直接報告することを検討いただきたい。

▶代表者会議へは適切な者が出席し、説明できるように調整する。検討メンバーに関して補足はあるか？

▷川村 大会へ出場しているカテゴリーとして社会人連盟と大学生連盟、また審査会等で使用している審判委員会などに参加いただきたい。

第2号報告 各委員会報告

1) 広報委員会 (俵川委員長)

▶ホームページ作業として、現在、U18リーグ関連、今後はU16都・地区DC、天皇杯・皇后杯のアップロードを予定している。また、U18部会ページで試験的に大会情報の画像アップロードの運用をしている。

2) 競技会委員会 (川村委員長) 【資料5】

▶資料に基づき、委員会内で承認した天皇杯皇后杯ファーストラウンド要項について報告があった。また、大会スケジュールについてもあわせて報告があった。

▷針生 今大会の撮影に関しては、要項に参加チーム以外は、偵察目的含め不可としたことを補足する。

▶撮影に関しては他の大会において実際に参加チーム以外の他県チームから撮影許可に関する問い合わせがあり、検討のうえ、参加チームのみとし、お断りした。今後は、撮影に関する基準を広報委員会中心に検討し、問い合わせへ対応できるように整備いただきたい。

▷俵川 要項内の撮影素材の投稿については対象者・対象チームへ許可を得るとあるが、当該試合についてのみの認識でよいか。そうであればもう少し分かりやすく文言を修正してはどうか。

▶文言含め、内容についてはJBAより通知された資料をもとに作成している。

▷事務局 撮影・投稿ルールについてはすべてファーストラウンドでのルールとしてJBAより通知されたものである。ファーストラウンドに関しては高校生(未成年)が出場することもあり、投稿に関するルールが設けられているのではないかとの認識である。

▷田中 参加チーム関係者（保護者）の取り扱いはどうなるのか。

▶保護者含めた撮影に関しては参加チームが取り纏め申請いただき、ADを下げて撮影をしていただ

くことになる。会場での声かけ、放送など周知を行っているが、現状競技だけでは手が回らない。

▷田中 例年の話ではあるが、この大会においては競技以外の委員会、連盟の協力が不可欠であり、そのためには取り纏め役が必要である。

▷森田 取り纏めの管轄は総務になるため、総務委員長へ伝え、各セクションへ必要な人員依頼をさせていただく。

▷島田 複数の委員会、連盟が協力するとなると、状況により進行台本等が必要になる可能性があるが、各連盟で使用しているものを上手く取り入れ、一度作ってしまえば次年度以降継続して運用できるのではないか。

なお、提出した資料の記載に不備があったため、後日、修正版を配布する。

3) 競技委員会 (川村委員長) 【資料 6】

▶資料に基づき、夏季選手権大会、マスターズ都予選結果について報告があった。

マスターズ都予選については、推薦した男女3チームともに日本マスターズ参加が決定した。

4) 審判委員会 (橋本会長) 【資料 7】

▶関東ブロックの中で3x3への審判・TO派遣に関して規定を設け、6月の関東専務理事会で承認された。今後は規定に沿って派遣を行う。

5) 強化育成委員会(強化部) (鈴木委員長) 【資料 8】

▶資料に基づき、関東ブロック大会組み合わせについて報告があった。

今年度は国スポ出場枠が少年種別4チーム、成年種別2チームとなる。

6) 指導者養成委員会 (北村委員長) 【資料 9】

▶資料に基づき、2025年度のコーチデベロッパー推薦者について報告があった。

推薦者：山崎紀春（東京家政大学）

▶6月にD級養成講習会（第1回）、7月にC級養成講習会（第1回）を実施、今後は8月にD級（2回目）、9月にC級（2回目）の開催を予定している。

7) アンダーカテゴリー部会(U15) (青柳部会長)

▶U15リーグ（前期）が終了し、男子59、女子32の参加であった。U14リーグは12月より後期リーグとして開催する。

8) アンダーカテゴリー部会(U12) (西山理事)

▶7/27に前期リーグ終了予定である。今年度はインテグリティに関する報告はなかったが、男子のゲームに女子が出場していたとの報告があった。調査の結果、登録選手外であったため、それについて8月の後期リーグ代表者会議時にチーム指導者と話し合いを行う。なお、結果としては0-20の扱いをしている。

今後、同様のケースが起きた場合、全国大会では認められていないため、予選となる鈴木正三杯でも同様となるが、リーグ戦についてはリーグ内での了解が得られていれば認める方向で部会内で検討している。

▶日程調整が上手くいかず、インテグリティ委員会との連携が前期リーグでは実施できなかつたが、8月～11月の後期リーグ内で連携できるよう調整を進めていく。

▶11月の鈴木正三杯代表者会議において、保護者対象のインテグリティ講習会を検討している。

▷橋本 10/5に都スポーツ文化事業団からJBA経由で、80名程度の小学生対象に3x3クリニックの

依頼、U12 大会の冠協賛に関する相談、JBA から今後の 3x3 普及に関する協力について相談がきており、今後、ご相談させていただくことになる。

►部会の中で 3x3 委員会の立ち上げについて検討している。主催大会の実施は現状難しいが、既存の大会の紹介等からスタートできればと考えている。実際、登録チーム内に 8 名に満たないため大会出場ができないチームがあるため、大会に出場できる機会を与えるためにも必要な委員会であると考えている。

第 2 報告後、司会の森田常務理事より U18 部会に代わって、ブロックリーグ選出チームの報告があった。選出チームは男子 2 チーム（八王子学園八王子、國學院久我山）、女子 3 チーム（東京成徳、八王子学園八王子、八雲学園）

第 3 号報告 各連盟報告

1) 高校女子 (福嶋理事) 【資料 10】

►資料に基づき、関東大会、総体予選結果について報告があった。

関東大会の結果を受け、ウィンターカップ出場枠が増え、東京都代表枠が 3 枠となった。

►8/17 より夏季大会を開催する。

2) 中学 (中村理事)

►7/24~29 で都大会を実施する。

►ホームページリニューアルに伴い、中体連関係の問い合わせが都協会へ送られてしまうことから、中体連トップページに注意喚起を掲載させていただいた。

3) 専門学校 (市川理事)

►6 月に 4 日間かけて選手権大会を実施し、男女ともに東京スポーツ・レクリエーション専門学校が優勝した。

4) ID (小幡理事)

►6/7~8 に全国障害者スポーツ大会関東予選が実施され、男女ともに東京都が優勝し、全国障害者スポーツ大会への出場が決定した。

第 3 報告後に渡辺副会長より、現在、次年度に向け、会長および専務理事とともに国スポ関連の視察派遣に関する案を検討している旨、また橋本会長より協賛に関する報告ならびに協賛企業である株式会社ユーフォリアに U15 リーグの冠協賛、同社アプリの国スポチーム内での運用検討について説明があった。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、午後 20 時 00 分閉会を宣言した。以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、出席した代表理事がこれに署名捺印する。